

9月はがん征圧月間

「がん」は昭和58(1983)年に死因の第1位となり、本県の令和4(2022)年の総死亡者数11,090人のうち、がんによる死亡者は2,508人で、全死亡に占める割合は22.6%と、全体の約4分の1を占めています。

毎年9月は「がん征圧月間」です。これを機会に、がんに対する知識を深め、がんを防ぐ生活習慣に改善していくことを前向きに考えてみましょう。



山梨県における主な発見経緯別のがんの進行度

発見経緯	早期がん	進行がん	不明
●検診・健診・ドック	早期がん 67.8%	進行がん 28.6%	不明 3.6%
●他疾患の治療時	早期がん 55.8%	進行がん 35.4%	不明 8.9%
●自覚症状等	早期がん 37.7%	進行がん 51.3%	不明 11.0%

出典:山梨がん情報(2016-2019)

厚生労働省が勧める5つのがん検診

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん	問診に加え、胃部X線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部X線検査については40歳以上に対し実施可	1回/2年 ※当分の間、胃部X線検査については年1回実施可
子宮頸がん	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳以上	1回/2年
肺がん	問診、胸部X線検査及び喀痰細胞診	40歳以上	1回/年
乳がん	問診及び乳房X線検査(マンモグラフィ) ※視診、触診は推奨しない	40歳以上	1回/2年
大腸がん	問診及び便潜血検査	40歳以上	1回/年

厚生労働省が、がん検診の効果科学的に証明されていると推奨している5つのがんです。最寄りの検診機関などで気軽に検診を受けることができます。

がん検診は 早期発見早期治療に つながります

《がんは身近な病気》

現在日本人は、一生のうち、2人に1人は何らかのがんにかかるといわれています。がんは、すべての人にとって身近な病気です。がんは、禁煙や食生活の見直し、運動不足の解消などによって「なりやすくなる(予防する)」ことができる病気です。しかし、それらを心がけていても、がんになりやすいように「なる」ことはできません。

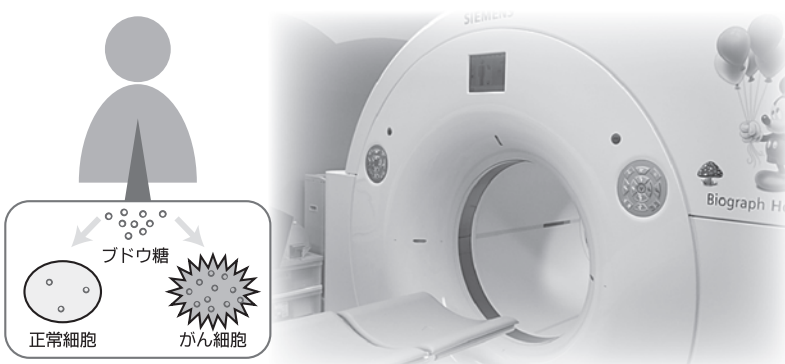
がんは、遺伝子が傷つくことによって起こる病気です。早期がんで発見された場合、すぐに適切な治療を施せば、がんは決して怖い病気ではありません。逆に自覚症状が出てから発見された場合は、周りの臓器やリンパ節に拡がり、手術が難しい進行がんになる可能性が高まっています。

《早期の適切な治療を》

がんは小さければ小さいほど、治療の際の体への負担が軽減します。また、浸潤や転移の程度が小さいほど、再発の危険も減ります。早期がんで発見された場合、

がん検診の受診を控えることにより、がんの発見が遅れる可能性が指摘されています。自分のため、心配してくれる周りの人のためにも、感染対策を徹底して、定期的にかん検診を受けるようにしましょう。

転移や再発の検索に有効なPET検査



PET検査は、がん細胞が正常細胞に比べて多くのブドウ糖を細胞内に取り込む性質を利用して、特殊な検査薬でがん細胞に目印をつけて撮影する検査法です。全身を一度に撮影するので、「がん」の転移や再発を検索するのに役立ちます。また、着衣のまま横になるだけですから苦痛がほとんどありません。

山梨県がん患者サポートセンターは、県が山梨県健康管理事業団に委託し、設置・運営する「がんの総合相談窓口」です。がん患者と家族が抱える悩みや不安に、医師や保健師、社会保険労務士、がんの経験者(ピア・サポーター)が相談に応じています。

◎医師による相談
病気に関すること、治療に関することなどに専門の医師が対応します。

セカンドオピニオンに準ずることや病院の紹介等には対応できません。(完全予約制・電話で日時を相談してください)

◎保健師による相談
病気に関すること、看護、介護に関すること、療養全般に関する

山梨県がん患者サポートセンターは、県が山梨県健康管理事業団に委託し、設置・運営する「がんの総合相談窓口」です。がん患者と家族が抱える悩みや不安に、医師や保健師、社会保険労務士、がんの経験者(ピア・サポーター)が相談に応じています。

◎医師による相談
病気に関すること、治療に関することなどに専門の医師が対応します。

セカンドオピニオンに準ずることや病院の紹介等には対応できません。(完全予約制・電話で日時を相談してください)

◎保健師による相談
病気に関すること、看護、介護に関すること、療養全般に関する

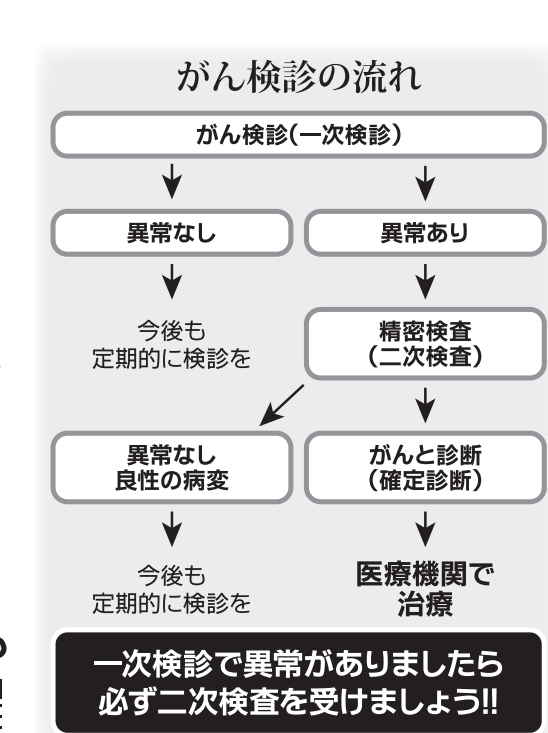
山梨県がん患者サポートセンターは、県が山梨県健康管理事業団に委託し、設置・運営する「がんの総合相談窓口」です。がん患者と家族が抱える悩みや不安に、医師や保健師、社会保険労務士、がんの経験者(ピア・サポーター)が相談に応じています。

◎医師による相談
病気に関すること、治療に関することなどに専門の医師が対応します。

セカンドオピニオンに準ずることや病院の紹介等には対応できません。(完全予約制・電話で日時を相談してください)

◎保健師による相談
病気に関すること、看護、介護に関すること、療養全般に関する

一人で悩まず がんの総合窓口へ



オンライン相談も受付中
詳細はこちら→

健康なあなたも定期的にかん検診を受けましょう

早期発見・早期治療



一般社団法人
山梨県医師会
会長 鈴木昌則
☎ 055-226-1611
甲府市徳行五丁目13-5
WEB www.yamanashi.med.or.jp

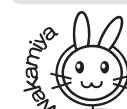


公益財団法人
山梨県健康管理事業団
日本対がん協会山梨県支部
理事長 鈴木昌則
☎ 055-225-2800
甲府市宝一丁目4-16
WEB www.y-kenkou.or.jp



依田産科婦人科クリニック
婦人科 産科
〒400-0861 甲府市城東2-16-6
☎ 055-220-7511

鼻からの内視鏡、大腸内視鏡、腹部エコー、ヘリコバクター・ピロリ除菌治療できます



わかみや内科クリニック
内科 肝臓・消化器内科(内視鏡)
日本消化器内視鏡学会専門医 医学博士
日本消化器病学会専門医 若宮 稔
日本肝臓学会専門医
〒400-0864 甲府市湯田2丁目19-2
☎ 055-287-6377

掲載50音順 企画・制作 山梨新報社 営業部

乳がん早期発見の大切さを伝える活動

乳がんは、日本人女性の9人に1人がかかるという統計もある疾病で、20代~50代の女性の中で多くみられる癌の一つです。

早期発見さえできれば、乳がんから女性を守る可能性は高くなり、女性はもちろん、社会全体が、乳がん検診の大切さを理解し、日常から乳がんについて意識していくことが求められています。

『PINK RIBBON TOMORROW』は、ピンクリボンに込められた願いが、明日はもっと広がり、より前を向いていける社会に進化してほしいという意味を込めた、山梨のピンクリボン運動。

詳しくはUTYホームページ▶

お問い合わせ:UTY事業部
TEL 055-232-1118(平日9:30~18:00)



主催:山梨県山梨県医師会 一般社団法人 山梨県医師会 公益財団法人 山梨県健康管理事業団 山梨県美容生活衛生同業組合 山梨県医療機器販売業協会 朝日新聞甲府総局 読売新聞甲府支局 毎日新聞甲府支局 認定NPO法人 乳房健康研究会

ふじ内科クリニック
院長:内藤いづみ
診療時間
午前 9:00~11:30
午後 2:00~5:00
●日曜日、火曜日、祝日は休診となります。
☎055-252-5150
甲府市緑が丘1-4-16
http://www.naito-izumi.net
在宅ケアの相談をお受けいたします

乳がん検診は、マンモPETで!
乳がんチェック
OPEI 甲府脳神経外科病院附属
山梨PET画像診断クリニック
中央市下河原3046-2 ☎0120-35-1236
脳卒中 頭外傷
救急・労災 指定病院
甲府脳神経外科病院
甲府市酒折1-16-18 (甲府東高校前) ☎055-235-0995(代)

Kasugai General Rehabilitation Hospital group
春日居総合リハビリテーション病院
サイバーナイフセンター ルート20
先端がん放射線治療器 サイバーナイフG4
理事長 村田 憲一
笛吹市春日居町国府436
☎0553-26-4126

人間ドック健診施設機能評価認定
厚生労働大臣認定 **クアハウス石和**
●宿泊ドック ●日帰りドック
●生活習慣病予防健診 ☎055-263-7071
回復期リハビリテーション
医療法人 **石和温泉病院**
●訪問リハビリテーション ●通所リハビリテーション
●デイサービス
笛吹市石和町八田330-5 ☎055-263-0111
http://www.isawa-hsp.or.jp

《がんは身近な病気》
現在日本人は、一生のうち、2人に1人は何らかのがんにかかるといわれています。がんは、すべての人にとって身近な病気です。がんは、禁煙や食生活の見直し、運動不足の解消などによって「なりやすくなる(予防する)」ことができる病気です。しかし、それらを心がけていても、がんになりやすいように「なる」ことはできません。

PINK RIBBON TOMORROW 2024
Yamanashi
乳がん早期発見の大切さを伝える活動
乳がんは、日本人女性の9人に1人がかかるという統計もある疾病で、20代~50代の女性の中で多くみられる癌の一つです。
早期発見さえできれば、乳がんから女性を守る可能性は高くなり、女性はもちろん、社会全体が、乳がん検診の大切さを理解し、日常から乳がんについて意識していくことが求められています。
『PINK RIBBON TOMORROW』は、ピンクリボンに込められた願いが、明日はもっと広がり、より前を向いていける社会に進化してほしいという意味を込めた、山梨のピンクリボン運動。
詳しくはUTYホームページ▶
お問い合わせ:UTY事業部
TEL 055-232-1118(平日9:30~18:00)
主催:山梨県山梨県医師会 一般社団法人 山梨県医師会 公益財団法人 山梨県健康管理事業団 山梨県美容生活衛生同業組合 山梨県医療機器販売業協会 朝日新聞甲府総局 読売新聞甲府支局 毎日新聞甲府支局 認定NPO法人 乳房健康研究会